

和歌山病院での実習を終えて



小澤 優太

今回、呼吸器内科での実習の一環として10月23日～24日の2日間和歌山病院で実習をさせていただきました。短い期間でしたが密度の濃い充実した実習内容であり本当に有意義な時間を過ごすことができました。

南方院長の胸部レントゲンのセミナーでは、読影の方法を基礎から丁寧に教えていただきました。また、基礎をもとに自分の頭で考えて答えを導く形式であったため、読影の際にどのようなプロセスで思考していくかが良く分かりました。また、ブロンコ体操を通じて気管支の位置関係を立体的に把握することができました。頭で覚えるのが難しいことも体を使うことでこんなにも簡単に位置関係を捉えることができ本当に驚きました。忘れないように体に染みつくまでブロンコ体操を定期的に行おうと思います。

また、ご多忙の中、南方院長と研修医の先生方との会食の機会をいただきました。南方院長にさせていただいた御坊市にまつわる宮子姫のお話がとても印象に残っています。医師として自分の勤務する地域の歴史や文化などを理解しておくことはその土地で働くうえで、また仕事に限らずその地域の人たちとコミュニケーションをとる上でもとても重要なことであるということを再認識しました。

今回の実習で学んだことをこれからの臨床実習に生かすとともに、これから医師になるにあたり今まで以上にひとつひとつの物事を自分なりに考え、自分の理想とする医師になれるよう精進していく所存です。

最後になりましたが、この実習に関わっていただいた、南方院長、駿田副院長、ならびに和歌山病院のスタッフの皆様にご心から感謝申し上げます。ありがとうございました。